

シヤチハタ株式会社

2026年7月7日

音声・動画コンテンツの来歴検証サービス

「SIGNED SOUND（音のしるし）」（商標登録出願中）を正式提供開始

音響電子透かしと音響フィンガープリントを組み合わせ、オープンな来歴技術標準 C2PA に準拠した設計で、「登録された原本と一致する正規コンテンツ」であることを確認できる

シヤチハタ株式会社※（本社：名古屋市西区、代表取締役社長：舟橋 正剛、以下「シヤチハタ」）とエヴィクサー株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 CEO：瀧川 淳、以下「エヴィクサー」）は、2026年7月7日より、音声・動画コンテンツの来歴（provenance：ここでいう来歴とは、登録された原本との照合結果および記録された来歴情報を指します。コンテンツ内容の真実性、発信者の権限または法的真正性を保証するものではありません。）を記録・検証できるようにするサービス「SIGNED SOUND（音のしるし）」（商標登録出願中）の正式版の提供を開始します。

※社名表記は「シヤチハタ」ではなく「シヤチハタ」です。

SIGNED SOUND が目指すのは、配信元が自社の正規コンテンツに来歴の「しるし」を残し、視聴者や二次拡散先がいつでも登録原本と照らし合わせられる状態をつくることです。「記録された署名主体・署名時刻・原本との対応関係」という来歴情報が、配信元にとって、安心して正規コンテンツを届けるための足場になります。

本サービスは、2026年3月13日に両社が発表した資本業務提携に基づく取り組みとして、シヤチハタが来歴証明書の発行主体およびプラットフォーム運営を担い、エヴィクサーが音響識別技術を提供する形で実現しました。本サービスへのお問い合わせ・お申し込みは、本リリース末尾の窓口より受け付けます。

・ SIGNED SOUND でできること

SIGNED SOUND は、配信元が送り出す音声・動画コンテンツに対して、次の2つの技術を組み合わせた来歴情報の記録・検証を提供します。

1. 音響電子透かし

人の耳には知覚できない不可視・不可聴のしるしをコンテンツの音声に直接埋め込みます。一定の圧縮・変換処理を経ても検出できるよう設計しており、透かしが何らかの理由で失われた場合も、音響フィンガープリントによる照合で多層的にカバレッジを確保します。なお、すべての処理条件において透かし検出が保証されるものではありません。

2. 音響フィンガープリント

音声固有の特徴点を数値化してデータベースに登録します。音響電子透かしと組み合わせることで、複数の手段による来歴確認を可能にします。

これら 2 つの技術は、Adobe・Microsoft・Intel・Arm・Truepic ほか主要テクノロジー企業が共同策定した来歴メタデータのオープン技術標準「C2PA (Coalition for Content Provenance and Authenticity)」のソフトバインディングアルゴリズムとして国内初の登録を受けています。なお、SIGNED SOUND として C2PA Conformance Program による認定取得を示すものではありません。

・背景：来歴の記録なき情報空間が抱えるリスク

SNS を通じた情報の拡散速度は、配信元による否定・訂正の速度を大きく上回ります。2024 年 1 月の能登半島地震では、発生から 24 時間以内に投稿された救助要請のうち約 1,100 件中約 104 件 (約 1 割) が偽情報と推定され、偽計業務妨害容疑での逮捕事例も確認されています (総務省 令和 6 年版情報通信白書)。

また、2025 年 4 月 1 日には「情報流通プラットフォーム対処法」(旧プロバイダ責任制限法改正) が施行され、指定された大規模プラットフォーム事業者に対し、権利侵害情報への対応の迅速化と運用状況の透明化に関する措置が求められるようになりました。なお、同法はコンテンツの発信者に来歴証明・真正性の証明を義務付けるものではありません。こうした法環境の変化は、情報流通のあり方に対する社会的な関心の高まりを反映しています。

こうした状況に対し、音声合成・映像生成 AI の検出技術は、学習対象外の手法や SNS 経由の再エンコード処理によって精度が低下するという汎化の限界が研究上指摘されています。

「疑わしいコンテンツを後から検出する」アプローチだけでは追いつかない局面が生じており、「配信元で原本の来歴を先に記録しておく」来歴記録アプローチの必要性が高まっています。SIGNED SOUND はこの課題に、音響技術と来歴メタデータ標準の組み合わせで応答します。

・両社の役割

シヤチハタ株式会社

電子印鑑・電子決裁サービス「シヤチハタクラウド」の導入実績 110 万件超を持ち、情報セキュリティマネジメントの国際規格 ISO/IEC 27001 をシヤチハタクラウドで取得したデジタルトラスト事業の実績を背景に、SIGNED SOUND において来歴証明書の発行主体およびプラットフォーム運営を担います。デジタルとアナログをつなぐ信頼の基盤づくりを事業の中心に据え、本サービスを通じてその領域を音声・映像コンテンツへと拡張します。

エヴィクサー株式会社

音の信号処理に基づく音響識別技術の研究開発・商用化を15年以上続けてきた技術企業であり、SIGNED SOUNDに音響識別技術を提供しています。総務省「インターネット上の偽・誤情報等への対策技術の開発・実証事業」に令和6年度（FY2024）・令和7年度（FY2025）と2年連続で採択（技術開発主体）されており、国の研究開発プロセスの中で来歴証明技術の実証を重ねてきました。音の信号処理を応用した映画館バリアフリー上映サービス「HELLO! MOVIE（ハロームービー）」・「字幕メガネ」への技術提供など、社会実装の実績も持ちます。

両社は2026年3月13日、シヤチハタがエヴィクサーへの第三者割当増資を引き受ける形で資本業務提携を締結しています。

・サービスの仕組み

配信元は、配信前にコンテンツをアップロードして音響電子透かしの埋め込みと音響フィンガープリントの登録を行い、来歴情報を付与します（**発行**）。配信後は、SNS等で見かけたコンテンツをアップロードすると、透かし検出とフィンガープリント照合により登録原本との対応関係を確認できます（**検証**）。

・今後の展開

SIGNED SOUNDは正式版の提供開始を機に、自治体・公共機関の公式情報発信、放送・配信事業者のコンテンツ流通、報道機関、企業の広報・IR動画など、情報の来歴記録ニーズが高い複数の領域での導入拡大を進めます。

「自社の正規コンテンツに、来歴のしるしを残しておきたい」――そうお考えの配信元の方は、適用範囲・機能・導入形態を含め、本リリース末尾の窓口までお気軽にお問い合わせください。

（ご参考）会社概要

シヤチハタ株式会社

創業：1925年（大正14年）1月

設立：1941年（昭和16年）9月24日

代表者：代表取締役社長 舟橋 正剛

事業内容：文具印章関連事業、電子決裁およびバックオフィスサービス等のIT関連事業

売上高：182億円（2025年6月期 単体）

本社所在地：名古屋市西区天塚町4丁目69

電話番号：052-521-3635

URL：<https://www.shachihata.co.jp/>

エヴィクサー株式会社

設立：2004年（平成16年）3月12日

代表者：代表取締役社長 CEO 瀧川 淳

事業内容：音の信号処理に基づくソフトウェアの研究開発および音響通信ソリューションの提供

売上高：3億2,000万円（2025年12月期）

本社所在地：東京都中央区新川 1-17-22 松井ビル1階

電話番号：03-5542-5855

ファクス：03-5542-5856

URL：<https://www.evixar.com/>

<本件に関するお問い合わせ>

シャチハタ株式会社 事業創出本部 牧（配信主体・報道問い合わせ一次窓口）

電話：052-886-0400 / E-mail：new_b1@ngy.shachihata.co.jp

エヴィクサー株式会社 事業本部（技術に関するお問い合わせ）

電話：03-5542-5855 / E-mail：press@evixar.com

SIGNED SOUND サービスサイト（お申し込み・詳細）

<https://lp.signed-sound.jp>

公式 note（情報発信）

https://note.com/shachihata_trust